

「わたしは大丈夫」が、実は一番キケンです。 巧妙な詐欺にご用心ください。

ここ数年ニュースで絶えることがない高齢者をターゲットにした詐欺の話題。なぜ、詐欺被害は減らないのでしょうか。被害にあわれた方にお話を聞くと、「手口が巧妙だった」「催眠術にかかっていたようだ」と口を揃えておっしゃるそうです。次から次へと新しくなる手口。「わたしは大丈夫!」という思い込みが一番キケンです。手口を学んで注意ポイントを知っておくことで、日頃から心のそなえを万全にしておきましょう。



ますます巧妙になってきた! 流行の手口「還付金詐欺」とは?

昔は“振り込め”、今は“戻ってくる”。誘い言葉の違いにご用心。

市町村役場や年金事務所などの職員を名乗る人物から「税金が戻ってくる」「医療費の還付金がある」「返金の受取手続きが済んでいない」などの電話があったら要注意! 「銀行員から電話がある」・「ATMの操作方法を教える」という手口で、ATMに誘導して現金を振り込ませる『還付金詐欺』のケースが多発しています。



心構えと対策は……

ATMを操作してお金が戻ってくることは絶対にありません! 「今日中に手続きしないと間に合わない」と言って急がされても、きちんと相手の名前や職場、部署を確認しましょう。一度電話を切り、電話の相手が言っていた職場の電話番号を調べなおし、再度、確認の電話をかけなおしてください。

最新の電話は詐欺対策の機能付き!

被害を防ぐ対策として、電話機の機能を最大限に活用することも大切です。留守番電話はもちろん、迷惑電話防止機能等なども使ってみましょう。

「警告」も
有効です!
怪しい番号からの電話には、自動で「この会話は録音されます」などの音声を発信。

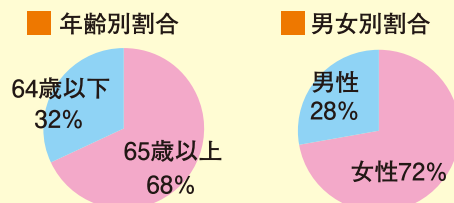


犯罪の証拠が残ることを恐れるので、犯人は通話の前に受話器を置きます。

データでわかる実態

被害にあった68%がシニア世代!

この図を見てわかるとおり、被害に合われた方の68%以上がシニア世代なんです。さらに、なんと72%が女性であることがわかっています。



H28.11月末現在

取材協力: 福岡県警察本部生活安全総務課